

性犯罪に関する刑事法検討会 ヒアリング出席者略歴等

- ^{みや}宮 ^{さき}崎 ^{ひろ}浩 ^{かず}一 氏 （立命館大学大学院人間科学研究科博士後期課程，臨床心理士，公認心理師）

専 門：男性の性暴力被害，援助要請，ジェンダー，セクシュアリティ

活動等：2019年2月 児童養護施設園内研修会講師「男性の性被害について」

2019年9月 日本心理学会第83回大会一般発表「男性の性的被害と回復の過程」

資 格：臨床心理士，公認心理師

- ^{にし}西 ^{おか}岡 ^{まゆみ}真由美 氏 （京都大学大学院教育学研究科博士後期課程，臨床心理士，公認心理師）

専 門：男性の性暴力被害，トラウマとジェンダー等

活動等：2015年8月より京都府性暴力被害者ワンストップ相談支援センター京都 SARA にて支援員として勤務。

2019年4月よりウィメンズカウンセリング京都に所属，性暴力被害者のカウンセリングを担当。

資 格：臨床心理士，公認心理師，看護師，保健師

- おか だ み ほ 氏 (Broken Rainbow - japan 理事, レイプクライシス
・ネットワーク代表)

活動等 : 2003 年より性暴力サバイバー当事者団体にメンバーとして加わり
活動を開始し, 2008 年より, レイプクライシス・ネットワークを
主宰。

2010 年からは LGBTIQ の性被害に特化した取り組みを開始し, 2017
年, 性犯罪に関する刑法改正を契機として LGBTIQ の性被害に特化
した活動体である Broken Rainbow - japan の立ち上げメンバーと
なる。青森県を拠点として LGBTIQ を初めとした生きにくさを抱え
た人たちの居場所作りの為のコミュニティカフェ運営やプライド
パレードの実施をするとともに, 全国を対象とした LGBTIQ の性被
害に関する相談支援事業や, 相談員養成などに携わる。

※サバイバー : 被害から生き抜いた人

※プライドパレード : LGBTIQ 文化を讃えるイベント

○ 野 ^の坂 ^{さか}祐 ^{さち}子 ^こ氏 (大阪大学大学院人間科学研究科准教授, 臨床心理士, 公認心理師)

略 歴 : 1999 年 4 月 お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科人間発達科学専攻博士後期課程 入学

2004 年 3 月 同大学大学院同研究科 単位取得退学

2004 年 4 月 大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター
講師 (2009 年 4 月 准教授)

2013 年 4 月 現職 (上記研究科 臨床教育学講座 教育心理学分野)

専 門 : 発達臨床心理学、トラウマ研究

活動等 : 子どもの性被害及び性問題行動への支援と研究を行う。

児童福祉施設, 学校・支援学校, 犯罪被害者支援センター (大阪被害者支援アドボカシーセンター専門支援員) 等での性被害のトラウマケアのほか, 児童相談所及び刑事施設にて性問題行動/性犯罪の再犯防止教育のSV (スーパーバイズ) を行う。

日本トラウマティック・ストレス学会, 一般社団法人もふもふネット (性暴力の被害・加害への治療教育等を行う団体) 理事

厚生労働省「児童買春・児童ポルノ被害児童の保護施策に関する検証・評価専門委員会」委員

厚生労働省「子ども・子育て支援推進調査研究事業調査研究」研究代表 (平成 29 年度～令和元年度)

資 格 : 博士 (人間学), 臨床心理士, 公認心理師

著 書 : 「トラウマインフォームドケア : “問題行動” を捉えなおす援助の視点」 (日本評論社, 2019 年), 「マイステップ : 性被害を受けた子どもと支援者のための心理教育」 (誠信書房, 2016 年)

○ ^{なか}仲 ^{まきこ}真紀子 氏（立命館大学総合心理学部教授，北海道大学名誉教授）

略 歴：お茶の水女子大学博士課程人間発達研究科単位取得退学，学術博士（お茶の水女子大学）。

千葉大学助教授，東京都立大学助教授，北海道大学教授を経て現職。

専 門：発達心理学，認知心理学。

体験の記憶やコミュニケーションを研究し，この 20 年は「司法面接」（供述弱者である被害者・目撃者等から，事実に関する情報をできるだけ正確に負担なく聴取する面接法）の研究を行っている。

2008 年より児童相談所職員，警察官，検察官等に司法面接の研修も実施している。

著 書：「法と倫理の心理学－心理学の知識を裁判に活かす：目撃証言，記憶の回復，子どもの証言」（培風館），「子どもへの司法面接－考え方・進め方とトレーニング」（有斐閣），「子どもの話を聴くための手法と実践例～司法面接の技法をいかして」家庭の法と裁判（日本加除出版）（連載中）など。